

2022/4/20

住民主体で作った地区防災計画 (ゼロからの計画づくり)

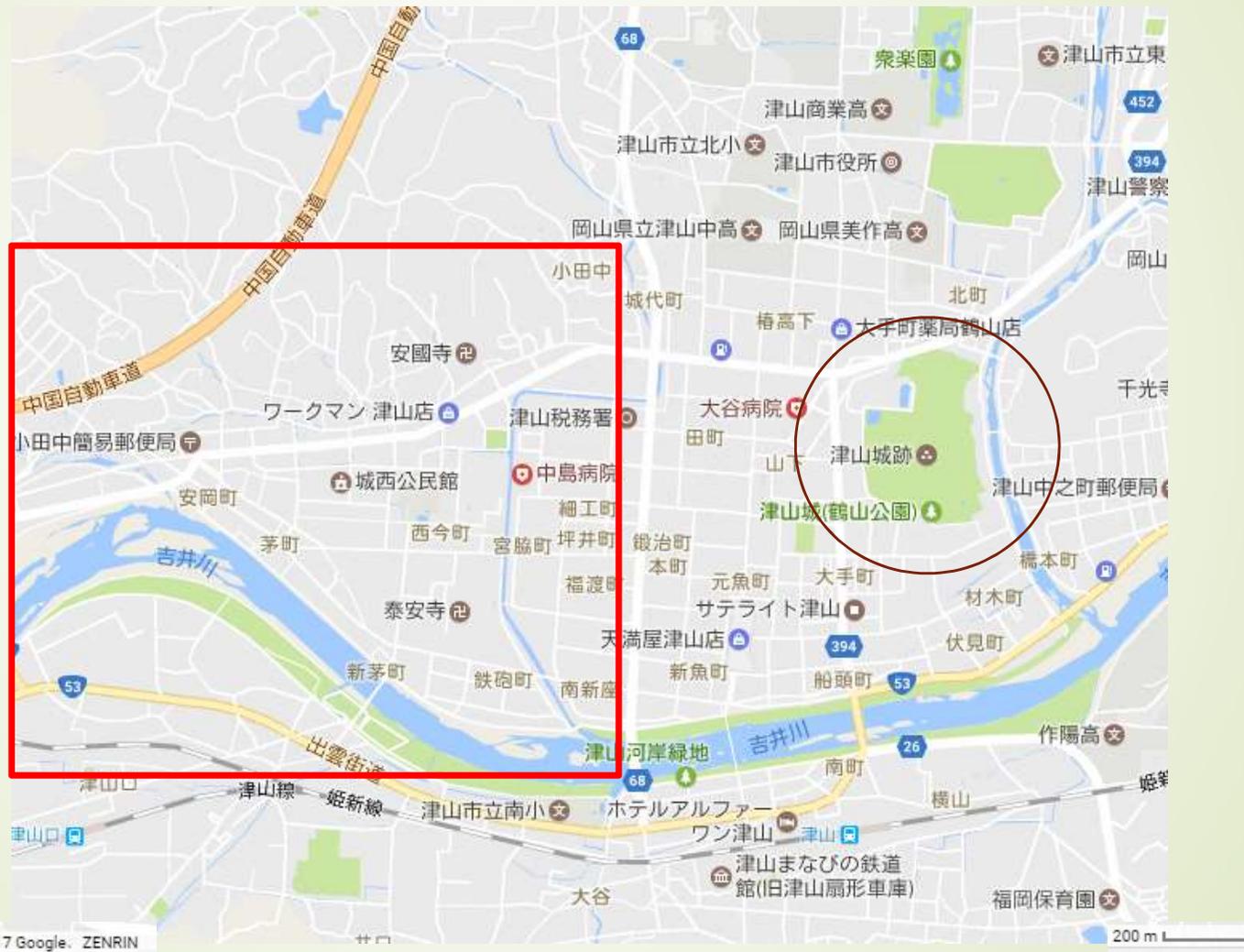
1

岡山県津山市
城西まちづくり協議会

岡山県津山市



津山市城西地区



城西地区の現状

- ➡ 人口 4,649人 2,283 (世帯) (令和2年1月)
- ➡ 町内会 15町内会 (連合町内会城西支部)
- ➡ 高齢化率 約35.7% (津山市30.6%、全国28.7%)
- ➡ 教育施設
小学校(児童数 約200名)
保育園 (約130名)
乳児保育園

平成10年 10号台風（激甚災害指定）

被災した家から出たごみ（城西地区）



被害とその記録



増水した川の水で削られ、崩れた道



水位の記録

「城西まちづくり協議会」

平成8年～ 「津山・城西まるごと博物館フェア」実施

年に1回のイベントでは地域が変わらない!!



平成21年 まちづくり活動開始

平成23年 「城西まちづくり協議会」結成

(まちづくり部会・福祉部会・防災防犯部会)

城西地区の防災の取り組み

- 平成25年8月 城西地区自主防災組織結成
 - * 防災訓練と3か月に1回の定例会・・・他の部会は毎月定例会実施
 - * 災害時に動けない自主防災組織・・・これでいいのか？
- 平成28年 内閣府「地区防災計画策定モデル事業」に取り組む
 - * 声がかかった理由・・・城西は地域づくりに取り組んでいるから
 - * 事業実施 平成28年11月～平成29年3月・・・地区防災計画は未完成
- 平成31年度 岡山県地区防災計画策定モデル事業に応募
- 令和2年1月 地区防災計画完成

H28年11月～H29年3月（会議は12月から4回実施）

津山市城西地区

ゼロから防災の取組みをスタート

（内閣府地区防災計画作成モデル事業）

第1回 城西地区の災害リスクの把握

ポイント

- ・ 地区防災計画の概要説明
- ・ 「地域で協力したほうがいいこと」
についてのグループ討議

*** 自分の地域が安全ではないことを知る**

- * 城西地域全世帯に「地区防災計画策定」
に取り組むことを知らせた
- * 参加をオープンにした
- * 約100名参加



☆第1回会議（H28.12.13開催）の検討結果☆

災害に備え、地域で協力したほうがいいこと

- ①災害時の町内での役割分担
- ②災害弱者対策
- ③災害時の避難ルール
- ④平時のご近所付き合いの活発化
- ⑤町内での危険を把握



第2回 災害時の課題のイメージづくり

11

- 地震で怪我をしないために～我が家と地域で備えよう
- クロスロード・ゲーム（災害時における「困った状況」の体験）
- ゲームの振り返りと教訓の抽出

*クロスロードゲームによって「いざという時、約束事を決めておかないと混乱する」ことを知る



☆第2回会議（H29.1.17開催）の検討結果☆

今後地区で決めておくべきルールとは？

- ①地域の危険箇所を把握しておく
- ②地域の要支援者を把握しておく
- ③町内および町内会間の連携（関係）づくり
- ④災害後・避難所での備え
- ⑤その他（臨機応変な対応ができるようにする、訓練を実施する、等）

第3回 地域の危険や資源を知る



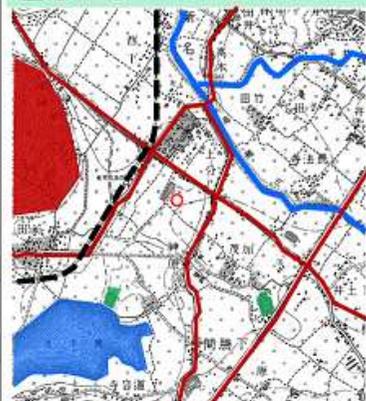
☆第3回会議（H29.2.21開催）☆

- ・ 地区で想定される災害について話し合い
- ・ 町内会ごとに、災害図上訓練（DIG）で地域の災害に対する**強み・弱み**を抽出

*** 自分の生活圏の危険個所や使える場所なので、自分事として取り組めた**

① まちの骨格を知る 1枚目の透明シート

色をぬる



川、水部



青

道路



茶

車通行不可

ピンク

鉄道



黒

山地



茶

公園・広場など



緑





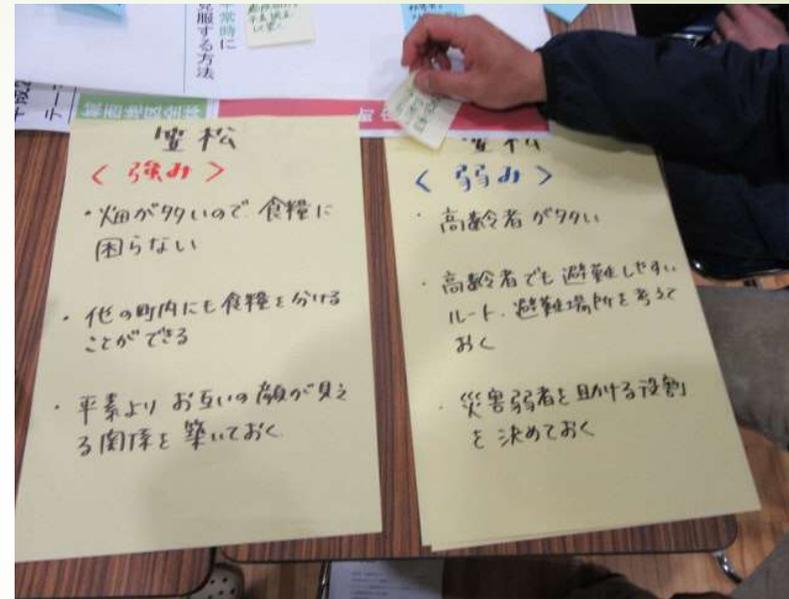
第4回 災害時のルールづくりに向けて

13

「城西地区の災害時ルールづくり」

【ワークショップ】（H29.3.21開催）

- ・城西地区としての災害時ルールの検討
- ・各町内会のアクションプランの検討
（各町内会で今後実行する事項の検討）



「城西地区全体で決めること」と「各町内会が検討・実行すること」の整理

分類	大項目	中項目案	地区全体	各町内会
災害時の活動	1. 災害時の役割分担	(1) 町内会間の連携		
		(2) 各町内会における役割分担の方針		
		(3) 各町内会における役割分担		
	2. 避難ルール	(1) 避難所・避難ルートの方針		
		(2) 避難のタイミング		
		(3) 避難所の運営方針		
		(4) 各町内会避難ルールの作成		
		(5) 避難所運営マニュアルの作成		
	3. 災害弱者(要支援者)対策	(1) 平常時の情報把握・管理の方針		
		(2) 災害時の避難支援の方針		
		(3) 避難所における支援の方針		
		(4) 平常時の情報把握・管理		

町内会ごとに、災害に対する強みや弱みを確認して、町内会の特徴に応じた必要な対策とともに、地域の強み・弱みを活かした連携を進めていく。

ここでモデル事業終了！

平成29年3月 内閣府モデル事業終了！

★★内閣府のモデル事業で分かったこと★★

“自然災害は避けられない”

“災害時に生命を守るのが防災”



自主活動スタート



令和2年1月 岡山県モデル事業で
「津山市城西地区防災計画」策定

住民が自主的に動く原動力 “気付き”

- ▶ 自分の地域にも災害が起こることを自覚する（防災意識の高まり）
- ▶ 地域の強み・弱みを出し合う、まち歩き（地域の現状を見る）
- ▶ 災害が起こった時にどう命を守る？
 - ・ 自分の命の守り方（いざという時の対処、非常持ち出し品）
 - ・ 災害弱者をどう守る（協力者はだれ？、どんな情報が必要？）
 - ・ どの時点で助けに行く？ ➡ タイムラインの作成
 - ・ どんなことをすればいいのか、情報を集める（新聞、ネットなど）
 - ・ 活動するために、連絡網の作成、組織の見直し・・・など

モデル事業から自主活動に移行できたのは・・・ (防災計画策定にはサポートが必要)

- *モデル事業のアドバイザーの先生が、
モデル事業後も継続支援してくれた
- *モデル事業でコーディネートしてくれた専門家から、
会議運営のノウハウを学べた
(年間計画、議事録、会議の振り返り、ワークショップ、付箋の活用 など)
- *まちづくり協議会の事務局が公民館にあり、**事務処理の応援**
をしてもらえた **(人的支援...行政、防災士からのアドバイス)**

★★地区防災計画を作るにあたって★★

①地域活動の中で防災に使えることを拾い出してみる

◎普段からやっていることがある（声掛け、顔が見える関係づくり、町内活動など）

②必要と思うこと、できそうなことからやってみる

（連絡網、危険個所点検、支援、避難所運営、非常持ち出し品 など）

③分かりやすい形にして地域で共有する（チラシ、掲示板、回覧など）

★①～③の作業を行ってきたことからまとめる → 地区防災計画

★防災は地域づくりの一部

★毎日の生活に「災害の視点」を入れることを習慣にする

城西地区防災計画（本編）に入れた内容

- 1.城西地区防災計画の基本方針
- 2.計画策定対象地区と避難所および策定主体
- 3.地区の特性と予想される災害
- 4.各町内会の強み、弱み
- 5.城西支部自主防災防犯協議会 組織図
- 6.城西支部自主防災防犯協議会 緊急連絡網
- 7.災害対策配備フロー（タイムライン）
- 8.避難所運営マニュアル
- 9.津山市および城西地区の防災体制（電話番号）
- 10.城西支部自主防災防犯協議会 規約